

太子町子ども・子育て会議（平成 29 年度第 2 回）会議録

1. 開催日時 平成 29 年 12 月 20 日（水） 15 時 00 分～16 時 30 分
2. 開催場所 太子町役場 議会棟 1 階 全員協議会室
3. 審議事項
 - 1 教育・保育の量の見込みと確保方策の見直しについて
 - 2 地域子ども・子育て支援事業に関する量の見込みと確保方策の見直しについて
4. 出席委員 都築祐二委員 松浦知子委員 嘉ノ海令子委員
西谷由加利委員 徳富伸吾委員 武田英樹委員
徳山玲菜委員
5. 欠席委員 巖 和美委員 岡村珠美委員
6. 事務局 藤野和徳社会福祉課長 蛭井のり子児童福祉係長
7. 傍聴者 なし
8. 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1. 開会
2. 諮問

会議録署名委員に嘉ノ海委員と徳富委員を指名。

3. 議題

- 1 教育・保育の量の見込みと確保方策の見直しについて
〈事務局より説明〉
〈質疑なし〉
- 2 地域子ども・子育て支援事業に関する量の見込みと確保方策の見直しについて
〈事務局より説明〉

都築委員 病児・病後児保育事業に関して、何かしらの目処等がたっているのか。
事務局 今後、調査・研究を行い、30年度の実施を目指して、町内の医療機関等に依頼したいと考えている。

都築委員 養育支援訪問事業で見直し後の数値が増加している理由は。
事務局 養育支援訪問事業については、見直し前が15人、見直し後が80人と85人と大幅に増えているが、当初の15人というのは、家庭児童相談員が訪問している数だけを上げられていたのではないかと思う。最近では、家庭児童相談員が定期的に養育支援が必要な家庭を毎月訪問されているほか、さわやか健康課の保健師については、若年出産の方や母子家庭の方で出産される方も最近増えており、そういった家庭を訪問し支援されているとの報告を受けている。

その数を入れると15人では少な過ぎるのではないかという意見があり、実際に保健師が訪問している件数を加えた結果、80人、85人という数値となった。

松浦委員 一時預かり事業について、割と問い合わせが多い。空いている場合であれば、緊急一時でお預かりするが、お断りすることも実際とても多い。ニーズはもっとあるのでは。

嘉ノ海委員 本園にも一時預かりの問い合わせは多い。ニーズは確かにあると思う。仕事や産前産後、病気など様々な理由によるものだが、保育士と子どものバランスで非常に心苦しい状態でお断りせざるを得ないことがある。

職員の勤務体制はもう日々組んでいて、その日の職員の配置上、この歳児はもう今日はぎりぎりの人数で見るから、今日この歳児で来てもらったら回らない、子供の安全も確保できないような状況にもなってお断りせざるを得ない。また、行事の前ならその行事に追われているので、とても今日はもう現場が無理だということもある。

毎回、園内でもどうするのか、受け手としたらお断りせざるを得ない状況だけれども、本当に断ってよかったのかと考えてしまう。

今、ニーズがあるなら、応えられるような体制を少し考える必要があるのでは。

武田会長 現実にお断りしている現状のケースがあるということを含んでいただき、今後、町のほうで検討をお願いする。

武田会長 ファミリー・サポート・センターの周知は、こういった形でされているのか。
事務局 広報にも頻繁に掲載し、ホームページにも掲載している。また、アドバイザーが、幼稚園、保育園、のびすくなどへ行き、PRを行っている。

西谷委員 のびすくについて、以前にもお尋ねしたが、全く場所的なことは決まっていないのか。

私も講演依頼があり、のびすくに行かせていただいたけれども、太田地区、原地区の住民の方からも苦情が出ていることを聞いている。それについては、情報は入っているか。

事務局 のびすくの施設面、ハード面での課題というのは、子供子育てに関する施設と

して、一体的に考えたいと思っているが、財政的にすぐに対応できない状況にある。しかし、社会福祉課が考える方向性としては、子育ての拠点施設をどこかに1カ所設置したい。

徳富委員 地域子育て支援拠点事業について、ほかの事業については、人口減とともに、30年度と比べ、31年度は人数も若干減らしてあるかと思うが、ここについては、見直し前の人数が減っているが、見直し後は減っていないので、その理由は。

もう1点は、見直しについて、人数が赤字で提示されているが、今後の方向性や課題の手だてを加味されてこの数字なのか。それとも、てこ入れをしなくてこの数字なのか。

事務局 31年度については、若干減らした数値を提示する。

もう一点については、課題に対するその施策を展開しての数字かということだが、それぞれの事業において、現状、これから2年の間で大きく変えるというのは難しい状況である。現状のサービスの中で、新たな創設というところまでは至っていない。

武田会長 先ほど、委員から御意見がいろいろと出たが、例えば、複合施設といったときに、本会議だけではなかなか解決が難しい。地域の問題という状況の中では、子供だけとか高齢者だけということではとらえられるような時代ではなくなってきている状況の中で、本会議だけは少し難しいような案件については、ぜひここで出た意見を他の会議、組織で発展的な議論をしていただければと思うので、よろしくお願いします。

4. その他

〈事務局より説明〉

今後のスケジュールについて

諮問内容については、平成29年12月28日（木）から平成30年1月26日（金）まで、パブリックコメントを実施。

パブリックコメントを受けて、平成29年度第3回子ども・子育て会議にて、答申予定。

5. 閉会

この議事録が真正であることをここに署名する。

平成30年 1月 18日

署名委員

嘉海 令子

署名委員

徳富 伸吾